

インフルエンザ流行期及び年末年始を迎えるにあたって (新型コロナウイルス感染症に係る市長メッセージ)

市民の皆様方には、新型コロナウイルスの感染予防対策にご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス新規感染者数は全国的に11月以降急増し、現在、第3波到来という状況下において、特に首都圏や北海道や関西圏では医療体制の逼迫が顕著となり、国においては、G o T o トラベルを一時停止するなど、年末年始の対応について今一度国民に対し、新たな取り組みを示したところであります。

本県におきましても、感染者数は増加傾向にあり、新規感染者数は400人を超え、また、飲食店や医療機関におけるクラスターの発生など、発生状況も多様化し、予断を許さない状況が迫りつつあると感じています。

このような状況下において、医師や看護師等医療関係者をはじめ保健所や検査機関等においては、日々、最前線において懸命に対応いただき、心から感謝と敬意を申し上げます。

こうした中、12月15日、市内において本市第5例目となる陽性者が確認されました。

感染されました方の一日も早い回復を願うばかりであります。

このような状況下、季節性インフルエンザの流行期を迎えるにあたり、私から市民の皆様、事業者の皆様に変更して年末年始を含む当面の過ごし方についてお願いがございます。

1つ目は、感染予防の徹底です。

基本的な感染予防対策として、マスクの着用、手洗い・消毒、身体的距離の確保の徹底に加え、3密を回避する行動と国が示す「新しい生活様式」について、改めて日常生活の各場面において取り入れていただくようお願いします。また、感染リスクが高まる「5つの場面」にも留意され、特にこれからの時期は会合や飲酒を伴う会食等が多くなりますが、大人数での会食や長時間の会食を控えていただくようお願いします。

2つ目、県を越える移動については、移動先の自治体が提供している情報等を十分に確認し、感染リスクの高い施設の利用等を控えるとともに、感染拡大予防ガイドラインに基づく感染防止対策が講じられているかを確認するなど、慎重な行動をお願いします。特に、年末年始には光市への帰省や光市から県外への帰省が増えることが予測されますので、滞在中はもとより移動前後の感染防止にも十分留意していただくようお願いします。

3つ目、事業者の皆様には、業種ごとに示された感染拡大予防ガイドライン等を徹底するとともに、在宅勤務や透明間仕切り等の設置、混雑時の入店制限のほ

か、寒い環境においても換気や適度な保湿を保つなど、感染防止に努めていただくようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の収束が未だに見えない状況の中、本市では国・県の対応状況を踏まえながら適切な予防対策を進めるとともに、医療対策においても光市医師会等のご協力のもと光市地域外来・検査センターを開設し、PCR検査の検体採取を行うなど、市民の皆様のお安全安心を守るために必要な様々な対策を講じております。

市民の皆様におかれましては、発熱等の症状により不安を感じられる場合には、かかりつけ医もしくは市健康増進課等にご相談いただきますようお願いいたします。

そして、これまで同様、市民の皆様をはじめ各種団体、経済活動を行う皆様方におかれましては、国・県・市の正確な情報の把握に努め、いわれなき風評被害や憶測、デマに惑わされないよう、また、医療従事者等や感染された方等の思いに心を寄せていただき、誹謗中傷等が無いようお願いするとともに、改めまして、市民一人ひとりが「正しくおそれ、冷静に対応」を念頭に、予防に対する高い意識と、節度ある行動の維持・継続にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和2年12月16日

光市長 市川 熙